

2012年8月16日

株式会社ワークスアプリケーションズ

株式会社三菱ケミカルホールディングス、 グローバル人材管理を「COMPANY®」で実現

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者：牧野正幸、以下 ワークス）は、株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林喜光、以下三菱ケミカルHD）より「COMPANY® グローバル人事」ライセンスを受注いたしましたので、お知らせいたします。

●加速するグローバルビジネスにおいて、企業競争力の土台となる人材管理が急務に



三菱ケミカルHDは、三菱化学、田辺三菱製薬、三菱樹脂、三菱レイヨンという4つの事

業会社から成り、約3兆円の売上のうち、海外売上比率が約3分の1を占めるグローバル企業です。現在約130の国と地域に海外現地法人・工場を持ち、近年ではM&Aによる海外企業の買収を進めるなど、ビジネスのグローバル展開を急速に推進し、国内海外含め約55,000名の社員を有するに至りました。

しかしながら、これまで各事業会社の本社人事部門では、海外法人における経営幹部や将来の幹部候補といった重要な人材の把握が不十分であったため、優秀な人材の更なるキャリアアップを見据えてローテーションを行うことや、幹部候補に育成の機会を与えるなどの施策を十分に行えていないという強い問題意識がありました。今後、一層加速するであろうグローバルビジネスにおける競争力強化を目指し、国内外全ての人材の把握と適正配置実現と、更には海外における優秀な外国人スタッフの採用・発掘・育成を目的とした、HD本社ベースでのグローバル人事データベース整備が求められました。

●全世界を対象とした人事データベースのスピード構築を実現する「COMPANY® グローバル人事」

全世界のグループ会社を対象とした共通の人事データベースを構築するに際して、各国で各々管理していた評価や職務グレードなどの統一が必要となり、実現までに多くのコストと時間を要することが懸念されました。そうした状況下で、海外拠点の現行システムや管理体制を無理に統一せず、グローバル人事データベースに自動的に情報を蓄積できる仕組みを持つ「COMPANY®」は、グローバル人事システム構築において重要な「構築スピード」や「情報収集の継続性」等の面で高く評価され、三菱ケミカルHDのグローバル人事データベースシステムとして採用されました。

「COMPANY®」では新たに実装された「グローバルリンク機能」によって、各国が独自で採用している評価手法やグレードの情報をそのまま吸い上げ、グローバル人事データベース用の管理項目へ自動変換し、同一の指標上で情報を蓄積することが可能です。

■本件に関するお問合せ先

TEL：03-6229-1210 FAX：03-6229-1211 Email：pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ

広報（担当：向井）

News Release 1/3

展開の「スピード」を考慮した「COMPANY グローバル人事」

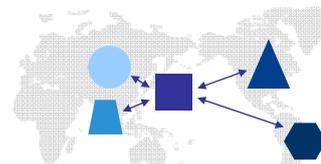
- グローバル人事システムの構築プロジェクトでは、「全世界共通の人事システム」を構築するのが一般的です。しかしながら、日本企業様においては、各国の制度やシステムを統一せずに現地法人に自由度を持たせていることも多いため、「全世界共通の人事システム」の構築には多額のコストと多くの時間がかかってしまいます。
- 弊社では、上記の日本特有の事情を踏まえ、海外拠点の現行システム・管理体制を無理に統一することなく人事情報の収集が可能な「共生型」グローバル人事構築手法を確立いたしました。この手法により、グローバル人事システムの展開における「スピード」を実現いたします。

システムを一元化する「統一型」のグローバル人事



- ・外資系企業が選択することの多い展開手法。
- ・評価・グレード統一を伴う場合が多い。
- ・システム・制度が統一されていない企業にとっては、多くのコストと時間がかかる。
- ・収集する情報項目などについてシステム変更をしたい場合には、全世界的にシステムのリニューアルを進める必要がある。

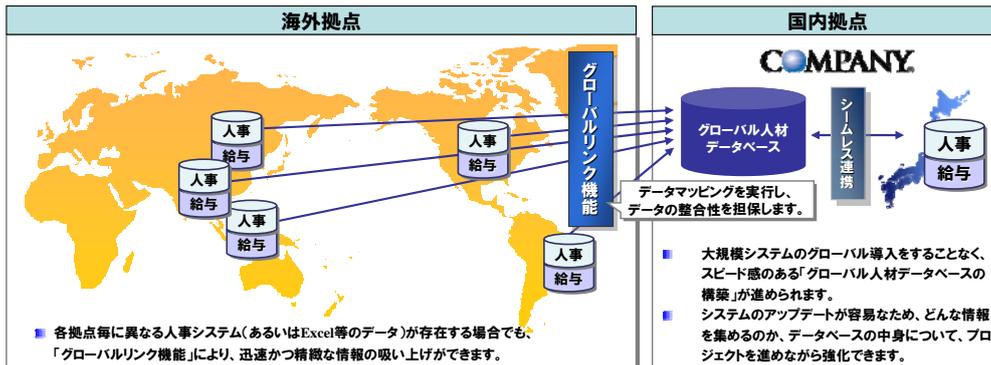
多様性を認めた「共生型」のグローバル人事



- ・多様性を認めた日本発グローバル企業に適した展開手法。
- ・評価やグレードなどの仕組みは、各国独自の慣習に合わせたままOK
- ・「スピード」を重視したグローバル人事システム構築により、短期間のプロジェクトで効率的な情報収集を実現可能。
- ・情報収集ツールの部分的なアップデートをするだけで良いため、課題・戦略の変化に対して、柔軟かつ迅速に対応可能。

精緻なデータベースの迅速な構築を実現

- 各国での大規模導入プロジェクトを進める必要がないため、「スピード感」のあるグローバル人材データベース構築が実現可能です。



- 各拠点毎に異なる人事システム(あるいはExcel等のデータ)が存在する場合でも、「グローバルリンク機能」により、迅速かつ精緻な情報の吸い上げができます。

- 大規模システムのグローバル導入をすることなく、スピード感のある「グローバル人材データベースの構築」が進められます。
- システムのアップデートが容易なため、どんな情報を集めるのか、データベースの中身について、プロジェクトを進めながら強化できます。

Point.1 国内の人事・給与基礎情報は1パッケージにて一元管理

⇒多重マスタ管理の回避、人事制度・法制度変更へスピーディに対応。

Point.2 人事関連情報は集約・活用のためグローバルにて統合管理

⇒マルチリンガル対応・グローバルタレント管理機能にて、グローバル人材DBと国内人事システムを統合。

これにより大規模システムを各国の拠点に導入する負荷なく、スピード感のあるグローバル人事データベースの構築が可能となります。加えて、既に「COMPANY®」を導入している4事業会社で構築された国内人材データベースと統合することで、国内外問わず、横断的な人事情報の一元化も実現されます。また、蓄積された情報に加えて、将来経営を担うであろう幹部候補社員から得意分野や今後のキャリア希望等を自己申告させることで、ワールドワイドでの経営人材のローテーションや最適配置の実現といったタレントマネジメントの実現も見据えております。

●日本企業の競争力を高める人事パッケージへ

「COMPANY®」は国産のERPパッケージとして、日本ならではの細やかな人材管理に必要な機能はもとより、多言語対応やグローバルタレントマネジメント機能をはじめとした製品強化を進め、グローバルで活躍する日本企業を支援してまいります。

■ 本件に関するお問合せ先

TEL : 03-6229-1210 FAX : 03-6229-1211 Email : pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ

広報 (担当 : 向井)

News Release 2/3

【参加費無料！ワークスアプリケーションズ主催イベントのお知らせ】

～三菱ケミカルホールディングス執行役員 登壇決定～

COMPANY FORUM 2012

日本国内の景気低迷、欧米の金融危機、アジア諸国の急激な経済発展を背景に、日本企業はいかにグローバル化を進め、生き残りを図るのか。経済の国境がさらにボーダレスになる中で、課題解決は急務である。これからのグローバル時代をどのように打ち勝っていくべきか、世界で活躍するリーダーを迎え、これからの日本企業のあり方を求めて参ります。

株式会社三菱ケミカルホールディングス 執行役員 CEOオフィス部長
兼 三菱化学株式会社 執行役員 人事部長
二又 一幸氏

「COMPANYの更なる活用！グローバル人材DB（データベース）の実現」

本講演では、グローバルで事業を展開する三菱ケミカルホールディングスグループ様の「COMPANY®」によるこれまでのシステムグループ展開と今後のグローバル人材データベース構想の展望につきまして、ご紹介させていただきます。

KEYNOTE 基調講演

グローバル企業の競争戦略

日本企業が世界で戦うチカラ
新時代に必要企業と個人の構想力

マイケル・ポーター氏
Michael E. Porter

大前 研一氏
Kenichi Ohmae



OSAKA 開催概要

日時 | 2012年9月27日(木)
10:00～18:00

会場 | ハービス HALL
大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA B2F

TOKYO 開催概要

日時 | 2012年10月24日(水)
10:00～18:00

会場 | 東京ミッドタウンホール
東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンイースト B1F

● 詳細情報、お申込方法

イベントの詳細、お申込方法は下記特設サイトよりご参照下さい。なお、**参加費は【無料】**です。

<http://www.cf2012.jp/>